

紙版 ハコブネ×ブックス vol.59

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐ web サイトです。



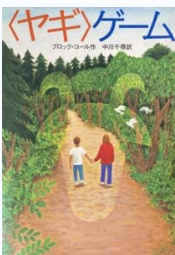
スカイラー通り 19 番地

The outcasts of 19 Schuyler place.
review

作者 E. L. カニグズバーグ
翻訳者 金原瑞人
出版社 岩波書店
発行 2004 年 11 月
ISBN 978-4001155747



スカイラー通り 19 番地。そこには、放校されることになるのは、彼女が何につけても「できればやりたくない」という反抗の姿勢をとったからです。二人きりで旅行にでかけた両親に置いてきぼりにされて行くことになったサマーキャンプでは、元から仲の良かった女子グループに、ヨソ者の彼女が一人で混ざられたためにトラブルがおきます。閉鎖的な女子グループに、プライドが高く自分分に誇りを持った孤高の女子マーガレットは敢然と立ち向かい、結果として彼女は、善良な友人たちに反抗する問題児とみなされてしまいます。己の信念を曲げてまで、周囲に迎合するなんてできない彼女は、こうしてキャンプを放校された後、さらに大きな戦いのヒロインとなっていきます。ひと夏の輝ける冒険譚は、キャンプを出てから始まるのです。



<ヤギ>ゲーム

The goats.

作者 ブロック・コール
翻訳者 中川千尋
出版社 徳間書店
発行 2002 年 2 月
ISBN 978-4198614850

review



十四歳の少年、ハウイは、参加したサマーキャンプで、バーベキューの準備中に突然、他の少年たちに襲いかかられて、全裸にされ、湖に浮かんだ孤島に置き去りにされるといふ、ひどい目に合います。同じ島には、やはり同じ境遇の少女、ローラがいて、二人は自分たちが、このキャンプの恒例のいじめである「ヤギ」にされたことを知ります。このまま時が経って、助けを求めようとする目につか。それとも、自分たちをこんな目に合させた子たちを見返すために行動を起こすか。二人は後者を選びます。背が低く内気な少年であるハウイと、やや大人びたローラ。互いに家族のことで、心に屈託を抱えた二人の抵抗の道行が始まります。この窮地を切り抜けながら、仲間として心を通じ合せていく二人が、自分を見つめ直し、互いを思いやり、友愛を育てていく姿が、愛おしい物語です。

素晴らしく豊かな感受性を持ちながらも、自由に身体を動かさない重度の障がいがある少女、メロディのこの夏の挑戦は、サマーキャンプに参加することでした。そこで、はじめて仲間を得た彼女は、誇らしくも輝ける人生最高の体験をします。そんな幸福な例外もたまにはあるのです。



わたしの心のきらめき
(シャロン・M・ドレイパー)
鈴木出版 2023 年



お問合せはこちらから。

紙版「ハコブネ×ブックス」vol.59

2026 年 8 月 1 日発行

事務系会社員。趣味で児童文学紹介サイト ハコブネ×ブックス(非営利)を運営しています。日本児童文学者協会第 6 回児童文学評論新人賞佳作他、諸々を受賞。

特集

サマーキャンプは鬼門

子どもなのに子どもが向いていないという致命的な欠点があるヤングアダルト作品の主人公にはありがちです。子ども時代のイベントを素直に楽しむことも不得手です。同じ年頃の子ともたて交友するためにサマーキャンプに参加することを躊躇するのは、そもそも社交性がなく、同じ年頃の子ともが苦手だからです。親から勧められて仕方なく参加すれば、おあわてどころか、ひどい目にも遭います。サマーキャンプは鬼門なのです。それでも、みんなが楽しんでいる場所での不機嫌そうな態度はハラスメントだと言われかねない時勢です。心は孤独な狩人であっても、狩人なりにサマーキャンプを楽しみたいものです。



キャンプで、おおあわて
ジェニファー・リチャード・ジェイコブソン
講談社 2008 年

ぼくたちのオオカミ

WOLF.

review

作者 サーシャ・スタニシチ
翻訳者 若松宣子
出版社 岩波書店
発行年 2025 年 7 月
ISBN 978-4001164329



夏休みの最初の一週間、同じクラスのみんと一緒にキャンプに行くことになった少年、ケミは、森の中に行きたいとは決して思わないタイプ。周囲と上手にやるのが苦手な変わり者である彼が、他の子たちからの攻撃を回避できているのは、もっと変わり者の少年、イェルクもこのキャンプに参加していたから。同室になったイェルクの不思議な行動や言動に戸惑いながら、ケミは自分の世界を持っているイェルクのことが気になります。いやいやながらキャンプ行事に参加するケミは、周囲と上手にやれない自分を捨てて余しながら、自分なりの正しさを信じ、答えのない自分への問いかけを続けます。異質で孤独な子どもたちが自分の心の中のオオカミと向き合う理解者がない荒野はキャンプ地だけでは足りないもの、ここは何か心がに兆す特別な場所になります。



夜フクロウとドッグフィッシュ

TO NIGHT OWL FROM DOGFISH.

review

作者 ホリー・ゴールドバーク・スローン
・スローン
メグ・ウォリッツァー
翻訳者 三辺律子
出版社 小学館
発行 2020 年 7 月
ISBN 978-4092905870



ニューヨークに住む十二歳の少女、エイヴリーに、ベットという知らない子から送りつけられてきたメールは「父親同士が付き合っているけど、自分はサマースクールに参加する気はない」という宣言でした。どうやら、建築家のエイヴリーのパパと、技師であるベットのお父さんは恋人同士になり、自分たちの娘同士も仲良くさせたいと同じサマーキャンプに行かせようと企んでいるらしい。しかもその間に自分たちは中国横断のバイク旅行に出かける計画なのです。勝手な父親たちの思惑通りにはなりたくない二人は対策を立てながらメルでのやりとりを続け、次第に深く語り合い心の距離を近づけて行きます。結局、同じサマーキャンプに参加することになった二人は、ちょっとハメを外してキャンプを追い出されることになりながらも、思いがけない貴重な体験を重ねていくことになります。